續大洋集序

嘉

ものゝあはれを筆に横山戎人
あやまりを正すゝとふ通俗の為業に
して古礼をおもふかたのことゝふむらし
先師の詩二篇白集の古集をきゝて
とてゝゝをを大洋とかやゝまれしを
自續集ゝもとよりも十篇白集の十

芙ハ三河芙の高まりはさへつに洪水
を浦ともいふとハいはむ唯一くさに續と
そのかハ今く先生の卑下なるへし
あやまりを正し其外漏を補ふなるひの
罪判をなふあるに

天保十五甲辰初春

門人
古大桜斎

序

有本集。則率有續集。自古而然。若我
俳諧者流。有筑波集。因有犬筑波。有
虚栗。因有續虚栗。是也。故屋烏老師
嘗有大洋之集。在乎三十年前矣。今八千師
又有續大洋之舉。蓋老師也大洋也。拔三
方諸子吟句。賀其古稀者之萃也。續大洋

者吟天保十四年癸卯十月十二日屬祖翁百五十回忌辰也海內之吟集者至十三萬餘而師就中選出蓋其趣向雖異而其書北行千世則未必不同也猶夫猿蓑集之又有續猿蓑集也欲俱其風調則遡曾變移者有焉後生孝者能知其意而熟讀此大洋二集吟味其情景由此洗晒練磨則其句巡如珠如玉清絜無瑕矣所謂探明珠於千尋海底者則此書豈豈非萬世不朽寶哉云爾

弘化貳季 乙巳秋七月

⊙卅龜生荃弄後藤鑑烏識

浪華寓士東讃節堂蘇甲樵書

千河 四竹 樵夜 山房

凡例

一 此集より後の字の冠らゝるハ二十年前
屋鳥岩師の大洋集なるの為なり

一 十三万句も集まるまゝ是を新分に
ばらを抜き出し人名ごとに句の位置
相数段なるこの為なり

一 集中の作者肩に地名を書るハこゝ
浪花とあるゝ同名あるハ肩に地名を
書るゝ

此秋雲

雲の雲

雲の雲

雲の雲

芭蕉翁百五十回忌

續大澤集惣計三千九百八十二章

浪花　八千房著

秀

軸

菅笠の風流を樓部の
長閑さや百姓の馬　吳雀
浦引く水程のさうら小船の音　作西川　一峯
稲葉和神名花の赤社を
湾よせね雲さ[illegible]の業の花　蓁柳
帆を積すて紙ねる附屋　青山
紙子姿の俳ちう[illegible]所　風月
業為れ[illegible]れす[illegible]義氏　二柾
業仕さや[illegible]ね二[illegible]侯　甚雪
[illegible]下掃よ[illegible]一張あ　虎尺
晒波

[illegible] 作且古 三友
砂川の[illegible] 茶柵
[illegible] 桃年
長[illegible] 重十長柄 花月
[illegible] 紀[illegible] 菜香
[illegible] 十二八 自未
十[illegible] 重中少 蘭和
[illegible] 作[illegible] 茶至
西[illegible] 花曉
[illegible] 作多ケ人 楚狂

[illegible] 紀[illegible] 文鼎
[illegible] 古義
[illegible] 二柾
[illegible] 伯[illegible] 風逸
[illegible] 紀[illegible] 花好
[illegible] 花溪
[illegible] 蘭和
[illegible] 九紀
[illegible] 紀[illegible] 春汀
[illegible] 二柾

[illegible]の上を葉[illegible]通[illegible]り　[illegible]

[illegible]　後川東　廿和　五月

[illegible]　五月

[illegible]　霧雲

[illegible]　蓼く

[illegible]　花渓

[illegible]　桃年

[illegible]　志義

[illegible]　茅高

[illegible]　萬水

あ[illegible]　校川宗　二柾

[illegible]　茅至

[illegible]　松古

[illegible]　風月

一走[illegible]　カ平　古栗

[illegible]　霧雲

[illegible]　二柾

[illegible]　楚柱

[illegible]　作カツ山　青州

三[illegible]　二柾

二月廿九日　洗去
二柾
九仞　作西川　半桂
茶糸
蓼榊
春汀
不二門　カフチ
二柾

四文

四月廿九日　作カモ方　儀
半桂
茶糸
蓼榊
春汀
文辨
双巴
二柾
雪隠
招霞
玄義
井和
萬九

榊色
春汀
文辨
双巴
紅葉去
二柾
雪隠　作ツ山
招霞
玄義
井和　和歌山
萬九　イヨ廣

桂枝の落ちてまつ[illegible]　作西川　可水
百日も沈丹に似たる角力茶　風月
笠の紙入れとて下[illegible]　十二八　自来
冬ごもり[illegible]花の山　花彌
時雨の中桂[illegible]吹すさび　二柾
百姓の俳[illegible]　俳西大寺　樗江
山茶花[illegible]　俳法　春竹
出茶屋[illegible]　茶至
吹上の砂の美しき茶みち季　自来
晴天や俳遊[illegible]の楠　扶古

有[illegible]中俳生[illegible]　法志
[illegible]　宗松　戸松
[illegible]　[illegible]　茶高
岩の俳[illegible]の梅　[illegible]　雪水
山[illegible]　春汀
[illegible]を門の[illegible]中一の稲[illegible]　九仙
[illegible]の門叩く黄ふ陰の邪　作下方　嘯月
毋[illegible]　モヒロセ　月九
松[illegible]　大[illegible]　南崖
少[illegible]　葉柳

[illegible]　九折　半桂
[illegible]　大前主殿　李山
[illegible]　花渓
[illegible]　平十五歌　花寅
[illegible]　春汀
[illegible]　花曉
[illegible]　作山　慶雅
[illegible]　雅山
[illegible]　扶古
[illegible]　慶月

[illegible]　西鳴　四鳴
[illegible]　枯年
[illegible]　モモリ　一映
[illegible]　孝子　春雄
[illegible]　二征
[illegible]　文辨
[illegible]　仝
[illegible]　四声
[illegible]　二征
[illegible]　紙全宗　南明

第五のく百ちゝ　猶奈　花曉
五月雨中新古今　雲義　雪隠
大酒〳〵自傷中　戎諫　兵孝　六峰
桂芝ようもいさく　莖秋　十二八　自然
時雨の五てしきく　橘の実家〳〵　作者山　可月
寒てうたゝ中秋　花芳
名をかゝ光うゝ　如石
ちゝ〳〵ゝ　月の花秋
出〳〵ゝ月の新の月　九秋

次はゝ月のうゝ　重ニ日七　蓬月
時雨〳〵雲ゝ　紅葉の時　錦獅
撥ゝ〳〵ゝ　山臺
撥人ゝ　楚狂
月ゝ雲ゝ中　秋二ツ　竹林
仲ゝ又ゝ　茶博
月の月ゝ　一二
建ゝ　二柱
時ゝ海ゝ年　花溪
桂ゝ月ゝ　其賢

蘭和
蓁栅
二柱
呉葵
竹児
玉呂
百齢
流水
一方
春竹

花渓
蓁栅
花朗
左義
其一
花渓
茶至
青別
茶山
枚古

四文

[illegible] 枝古
[illegible] 蘭和
一搖くあるや櫨の葉の毋 春蘭
二段乃ちあるに二色の接穂哉 竹林
咲ぬ哉 梅ちるやちるちる 沸柳
嫁入の門松ゆ紙 月 紙ちぢ 青苔
祝ちるもちるすゆもやちる 相国
大ちるや咲こちもく枝の雪 雪水
名月や海ちる芝の上 春汀
其雪

木枯ちるちるゆ岸 二柾
海ちる海ちる岩の外 風月
八講や拾利廣ちる 浦の海 花烟
加ちれ乃ちを時ちる屋幸 作西川 一舟
烟ちる雪ちる時ちる 如茂
ちちちゆを乃ちて時や ちもく 其鶯
時ちゆやちちちよりの稼ちる 一舟
いちも波のちちゆ時ちゆ 洗志
枝の馬時ちちちちる 空サイキ 其酒
唯ちちる乃ちゆ大二十日 ムサシ 赤秋

蝶〻や豊かなれど心せはし　伎妹尾　春樹
法便は同じ方にも見よ菜の花　瑠璃流
光帯の砂にかけたる菫かな　其馨
長緒のしも春の衣や杜若　月九
志る人は我く振之衣なるへし　カフチ　其乙
川音もしよ嘯雪ゆるし流し手　西戸
夢とは我く枝先や初さくら　花守
霞てり去りしうち浮寸草鳥かな　倪然
花香も中く馬の川鐵古遠くかな　志蕤
甲子中くり投く大根　邯升

新列の舟よりつゝや陰ひとつ　青山
切りしありり清く結ひ月の霞　風月
翁ゆくし流く鐵くなり帰る丁　猿る松　清九
深夜の舟乃ちらより花の紫　蓁柿
蔵さえし春も嵐ぬ清水　嵐義　竜圖
春く初あるし乾く島の船　半桂
うちもしと法華ぬ流るるかな　玉浩
春とく来も遠や清き月　雪懐
請ひものの人の思ふ身なる桜かな　狒狒
暮の月静鳴くし居さしるき　春汀

春汀
春曉
南明
流志
自朱
殿淮
蓁〻
青列
竹兒
花雲

十二八

春樹
竹橋
其蓁
其雪
花曉
陽限
梅巢
花洞
春秋
風月

義入中 五月雨 花曉
かゝ舞も馬さも引 大和中 蘭和
竹を潜して 紅葉中の 嘯月
おもてあるく 春九月 雪曉
鶴ハ中 水分 秋の山の月 文鞆
夕日 八幡 もゝ 紅葉 橘英
一株の 桜 ゝ 時ゝ 大雲院 星鶴
鳴中 水ゝ ゝ 竹の 竹林
月中 後 ゝ 面和 作者 紀北
色 ゝ 和 ゝ 高 竹兒

本 ゝ 紅葉や 雲の 花潤
出代の 谷 ゝ 波や 出 水 後面 香面
陸 鶴 ゝ ゝ ゝ 長 ゝ 長嬰
九 ゝ 清水の 海や 山の 雄 風月
新 ゝ 緑の 紫の中 ゝ 雄 洗志
地 花 今中 浜 花 ゝ ゝ 風月
新 ゝ 春 ゝ 小松 小 世 中 義洲
野 ゝ 中 ゝ 浦 ゝ 竹の ゝ 二柾
ゝ ゝ 義 せ ゝ 出 ゝ 海 ゝ 十二八 自来
義入中 速 ゝ 道の ゝ 法 子樹

漉よく紙のまさしき事
一本ほそき竹の節中時代ふる　後川東　竹
三ぐの内まく天竺の梅の花　虎尺
唐くの本と雲ちり綱代也　一株　モモリ
紅白ちり名のあるを桂生れ　梅菓
陳ふるも洗ふまさるうさを綱　二柾
教ちとのあるて第ふ桂生れ　北九
世ちつまてくふ栗如中花の云　古栗
梅ちまれちるしまさ年の号　春汀
大銭乃地ふ云ふ昔ふ逸　文鮮

三ちまけちふ知ちい蔵ふ桂ふ　春曉
桂ふふ洗の四月中梅さふ　洗去
梅ふ花とふ洗ふ栗の桂ふふ　楠子
栗桂ふ桂栗ふ栗中新ふ　機声
竹のふや中桂ふ洗ふ二三年　作ツ山　松人
ふ桂ふふふふ花ふの花　桐園
桂ふふふふふふ洗桂　風月
梅ふふや竹ふの桂も洗四花　花潤
桂ふ切ふ縄のぬふ蔵ふ　二柾
蔵入や切ふもふふふ使ふ　梅菓

川柳の紙旅人の旅をあれ　一映
秋晴や清らけさの花榊　二柾
地蔵をもたもたの傍や苔の井　侯川柴　井和
山の秋よふらもやもの川紅葉　藁柵
温泉の所くもる湯気や鶏の声　梅年
知盤やうの盤をおもうて　二柾
をれをれの人の影ふる落葉　北九
秋風や寂力の種をまくうら　茶山
うらおもやさまざまの蛍の蚤　紅三日庵　春牧
下戸ふるり梅もロ水をかけ　春汀

四文

秋風のさらさら郷の田植歌　イヨ今治　梅遊
庵ふるふるよさまうの苗束　庵尺
我をれ人のつゝや十六夜　茶至
市ふ川ふうしとゝ家ふ家　風月
石ひるも咲くつゝや白の蝶　柏雀
ふ蝶ふ乗ふ乗て糸柳　綾カ十五里　芦秀
引汐のあとかゝふ乗ふ家　其雪
出ふれて家咲くふ風や花の山　渡声
法頂のふふんてゝすゝ酒ふ　青山
四ふ月ふ乗ふ雪ふ雪の花　其雪

柴も菜の色に咲けりあかね哉　風月

大松と小松のなかを霞けり　彩紅
修法

三絃の音好からし手はせ哉　花渓

取人に浅山こえる松露哉　星鶴

切虫しらぬ所に蒸して擲躅かな　蓁々

宇治さへ手の雅に萬葛酒　二柾

出来秋や麦の穂くさや修田堺　洗志

菜の鵆見失ふとむれは啼けり　春汀

門ごしにすかし見る夜の月　文耕

一尺の松にさくあれかれ哉　春汀

来る事もし雁鳥一つの郷　文耕

出る日もやまの出やしら菜の雨　路浪

夏川の柳し猿のつれゆく柳かな　猿山

下萌えて鶯まで花の山　花曉

若菜つむ中子に紀あそしかな　梅菜

風吹かれ雪で跡なき岸の根　二柾

芭蕉さく声しの蛙哉　洗志

菊水の勢ひに蝶きのふかな　二柾

色くぬ松をたつやたての桂　文耕

送られても嬉しきゆふの旅装かな　春汀

当うゝもかなかすみ中鶴引　一二
松樹ゝ協和宮ゝ中　表の月　京　表紙
春ゝ中はゝゝ春ゝ中ゝ月ゝ　法志
竹ゝの世ゝ宮ゝもあゝね物川氏　蘭和
行遠ゝ五月と五ゝ中月の人　カフ千　自来
山ゝ中ゝゝ鶴の子ゝ玄物氏　卯堂
大物ゝ中ゝゝ氏物の玉　北九
紙ゝ人も古宮八ゝ中ゝね菅の橋ゝ　空緒方　字白
教の中ゝ向中ゝ中ゝ中ゝ菅の子　星物
物ゝ中ゝ氏ゝ宮ゝ川宮氏　、狙後　三岸平

鴨ゝ中ゝ菅教ゝ中ゝ石ゝ中　松古
一枝ゝ中ゝ物の堂ゝ宮　空タ西　半風
夕ゝ中ゝ中ゝ向ゝの村ゝ風ゝ中ゝ　白馬
月ゝの中ゝ月ゝ月ゝ中ゝ中ゝ　都外
春ゝ宮ゝ流ゝの中ゝ遠ゝ木の間氏　俗タケヘ　楚狂
中ゝ中ゝに月ゝ中ゝと中ゝ中ゝね物　二柱
五ゝ掉ゝ世ゝ物ゝ中ゝ世ゝ中ゝ月ゝす　高声
伊ゝ氏ゝ中ゝ不二ゝ中ゝ人ゝ中ゝ秋の宮　自来
家ゝ五ゝ志ゝ宮ゝ人ゝ戸ゝ宮ゝ中ゝ宮ゝ氏　作法　春竹
中ゝ中ゝ中ゝ鶴ゝ中ゝ中ゝ五ゝ五ゝ中ゝ氏ゝ　耕去

雪解よりそ紙式あるる社内之家　都外
鶯も鳴の連あり江の小家　和十古市　光月
英魯や二三ヶ茅ふる家を別府　仙尺
金竹は流川屋や石蔵の宝　肥カラツ　陸水
川さくい作伏うう寺屋うう家　ヤマ井キ　陽和
書門を出れい川ふり和ちし　春ヒカツ　梅山
を形ー変ヒて鮑を蓮の弁　風月
すーしを弁　稲ヒ春も海鼠雪　楚狂
立花のふり中ふの生ヒ先ヒ成　茅山
春ひこ雪屋はまを弁下方　晴月
曲雪ー山水の渡和紙雪　楚狂
月雪ヒ遠はー山の月　風月
一抱てもあきを抱ヒ冥ヒ鷺　二柾
ふ人のあとを郭ふ川雪ふ　甚雪
渡ヒ郭を蔓も雪ー梅の宝　作カワ山　青別
彩の本屋本屋結ヒ紙ヒ雪　玉川　都去
本抱乃ヒ雪ー白ヒ雪　ヤマ　雪別
抱ひヒ日ヒ雪ふ帰る雁　日ヒ雪　月雄
いヒ紙ヒふ乃俊ヒ蔵ヒ年　南雪　南雪
一年も雪ふ抱ヒ雪ー世雪　二柾

白露玉を吞む山寺八幡の鄙　枝古
海棠社のうつろふ雪　作且士　三友
引潮を追ふ網曳の行方　長門宝板　二栄
平蕉を吹く風に秋の音　柔山
八尊に雲を吹かせ　南崖
吹出る砂は雪　佐西川　可水
絵にあるは義経の蒙古　筑川東　有所
史六は陸奥の蒙古　枝古
一枝も焼く蒙古の遠征　風月
ちゝ中接捆の蒙古軍　有所

うゝに秋の清水流
山切に道の芝の柴
際くを繋ぐ一茎の
池辺に咲く雪の鶴
月乃煙に水の音の
蓋花の主人の
蓋池に流れる柳一柴
支度くに雲の霧吹
茅山に雲の霧
蓋砂の黒の茅
第度に上る清水

蘭月
花渡
馬一
嵐水
作秋月　蓋夜
風月
紀十五紙　弾眠
風月
山桜
寛四九　一到
都外

帆をおろす月同を一附る　風月
吹てもゝ[illegible]ぬ波の[illegible]　可水
松柴[illegible]　一松
水波中ゆく[illegible]　風月
樹[illegible]　求信
廉[illegible]　松籟
[illegible]　松籟
[illegible]　菊九
[illegible]　二柾
[illegible]　陽和
[illegible]　[illegible]

家屋中机[illegible]　百数
倒[illegible]　望雪
自落[illegible]　亭岐
[illegible]　[illegible]
散[illegible]　有物
[illegible]　梅居
[illegible]　茶至
二数の[illegible]　[illegible]
川向ひ[illegible]　[illegible]
[illegible]　[illegible]

三絃や鶯うても来る見舞状　江戸カ　台粟

本家より見れ戻りけり冬の梅　其雪

あくる日に花落の寺や柿の花　梅孫

菖蒲さうるゝ花菖蒲し　葛飾吉力　楚狂

[illegible]一日つ　三ツ邑　竹房

猫の目や酒のうらみを小傾城　慥水

江の月に丁度かゝる一ツ家かな　和雪

庵の[illegible]　作月田　花楽

起[illegible]　梅山

みしか夜や[illegible]梅木帘　為声

肉[illegible]蕣の中　江十日　萬水

[illegible]　江戸　月粟

[illegible]　江十日　花月

[illegible]　和歌山　梅禾

新[illegible]水鶏かな　鳥阿

[illegible]梅の花　仝

一[illegible]　北濤

[illegible]　木枕

[illegible]　枚古

[illegible]花の風　松サキ　柳後

石菖蒲の[illegible]中森の[illegible] 筑川茶 喬松
門柳[illegible]中[illegible] 福五 鶴鶴
桐苗[illegible] 二株
[illegible]中蓮の[illegible] 仝
[illegible]文水中[illegible] 播川 一峯
[illegible]中[illegible]の[illegible] 柳屋
[illegible]中[illegible] 牛兒
[illegible]中[illegible] 肥カラツ 其岡
[illegible]中[illegible]二[illegible] 牛兒
石山の名[illegible]中[illegible]の月 イヨ[illegible] 紅梅

[illegible]中[illegible] 壱ヲ方 亀遊
[illegible]中[illegible] 自来
[illegible]中[illegible]の間 俗ヲカ田 香雨
[illegible]中[illegible] 加外
[illegible]中[illegible] 作ヤ方 鶴苑
[illegible]中[illegible] 松雪
[illegible]の[illegible] 一ノ京 子丈
[illegible]文中[illegible]の[illegible] 茶至
[illegible]中 梅嫁 表竹
[illegible]人の[illegible]中 久世 允若
[illegible]中[illegible]四[illegible] 久世

[illegible]

二柾　夢繁　八代竜　辨慧　梅山　徐俊　北湧　石也　子角　花暖　芳所

一[illegible]　蘭秀　[illegible]　戸柏　[illegible]　八代竜　松丘　[illegible]人　桂之　風月　有物　風月　竹房

梅山　二征
作西川　甚一
イ三要　紀亡
扶古
作西川　半桂
桂之
扶古
書西
一　二

八朔中　大社　青列
北房
益表
風月
作子舍　亀屯
一注本　鴨里
新外
打版　樣時
一　二
作ヲカ　徒水

繁生之白髮時之山積之中
八月中旬之比之牧の
和歌中おもしろき俳句
蓬の宮中鶴の
花中しとさしたる
和歌中酒をこそ
多りし者はよろ
歌合一紙
隠せし
花根葉之

北潟
鞆浦
亀水
二柱
五角
紅葉
朱三
仝
井和
風呂

肥前守
作福院
素秋
二柱
梅山
斎藤
一隙
墨山
春竹
青列
真葛
梅舎

水鳥中おりの
秋を待之
多時屋之
日のさして
霧屋の
降之
鶴の
田之

維紫
仝
仝
仝
仝
仝
仝
仝

雪の中にうゑし梅の花　雪舟
開しより梅花を折る事なし　抑危
言一枝折あけをしをれば　二征
花竜の子うゑ中月の人　秋古
吹ぬけ雲に雲れる夏の中　鴨里
白たへ中一花ちる帆ちる紅　菊尤
夕ちれいく男雲よまりのうち　紅尺
早ひらうちしく梅の花　九嘉
春ちかたちの中まさすれ　風月
梅しく又一ちる中番ちる　文方田　花雲

風雲の解　勇中　竹人ちり　作力山　椒石
あちしちの浅ち　雲の中　石川本　義言
雑あちいふ山の端中　雲月
春やらと天ちもちる中ちの内　俊三三　松花
世ひ人の春ちを作ちの業雅ち　幸雄
幸雄ちの春の方ち中　作児
中の春中一波ちる風雲　雲三三井　詩歩
世雲ちの春ちて機ち人中男の子　和歌山　梅柱
確ちの中一木雑ちく雲む松　幸雄
ちちちる石山ちる清水　一孫

柿の落葉ちりて立や菊と堂　花綱
山間や残してまゐる紅葉の蔦　霞涯
遠ひらきてみよにはせを紅葉かな　樵晴
桂篠や霧の涼しき秋の月　二柾
紅葉嵐ひかりまはりし柿の色　亀光
雨ともそをともれてみるや秋の月　哉巷
川ぞひや松風ふくも一人毀　弥彦山　三穂
深しさにちらず雨ふる紅葉かな　青別
三寿貝八重一もとり雫や時雨　二葉
ときは木にふりつもりて紅葉かな　十二八　青山

下ある紅葉の白いや濡る萩　松花
我好と人をあて餞汁　西宮　四鳴
田水に新たし郷の戦か華　里雪
まだ露にしづかなる秋桔　伍尺
咲居に埃をかぶる嵐かな　二柾
初桔やさらにすゞしる池の泡　桂立
空もやむ嵐ふかれて咲かな　イヨ郡中　春扇
まだ川に春さく荻る松茸や宮の又　風月
水蓮る網やしなりし継光　長崎　万上呂
釋に歩伏す植田植の那　豊浦　竹林

友を訪て吹る中秋の際　幸雄
文月中旬より始て作侍人　肥前守　遠州
蟹の穴江西月ら　枝古
下毛乃在中いかを留る門　光月
宮雪年を〳〵芳ふる水　信濃守　穣
川辺に何うる中月の夏　為声
行橋と部よ有る中旅館　素枝
と蕎麦つまて栗こうる　石也
大あの作る すこう　甚芳　壹三廿
夏さこれ山部氏、ヨカ　作宇

別るる酒肴のあれば雅の子　壹中庫　湖雪
青舟を嵐乃窓し　陸中子　風月
出代てこ侍る時や　為別
みを指こ元こ〳〵の行る　如外
一京歳れる郭く　来信
砂子て更集む　様晴
不二こもこ山雲の峯　紅楓
千年北こ〳〵こ侍る　信州　百丈
至長の一間年高　雪蟄
木こ乃柿よいこ行る月白子　茅山

[illegible]社第中[illegible]の[illegible]建て門　三友
[illegible]の自分[illegible]寺[illegible]　花月
[illegible]れ一[illegible]の相　紙色　月慶
[illegible]中社[illegible]の高　きキツキ　花六
[illegible]門[illegible]林の[illegible]中　仆危
[illegible]中[illegible]　好月女
[illegible]の[illegible]　茶山
[illegible]の[illegible]　肥カラウ　文甲
[illegible]水[illegible]　素林
[illegible]中　反西月　其雪

[illegible]社[illegible]の[illegible]　花暁
[illegible]中[illegible]　桂立
[illegible]　長門　冨六
[illegible]の[illegible]　扶古
[illegible]　きヲ　月也
[illegible]中　[illegible]の中、　子云
一[illegible]の[illegible]の中　青列
[illegible]の[illegible]　二柾
[illegible]中[illegible]　八幡社　夢三
[illegible]中[illegible]　長年　六峯

[illegible]山は月　蘭月
花と[illegible]蓮う船　キヒロウ　葉渡
毒[illegible]加ら[illegible]夕すゝ[illegible]　キヒロウ　楊之
みゝ[illegible]　月雄
一時[illegible]佐[illegible]　キヒロウ　丑月
雪[illegible]ま[illegible]百[illegible]中[illegible]　松丘
[illegible]　イハヲキ　暮花
[illegible]　蝕水
[illegible]　イヨ西条　三井
[illegible]　肥ヒラノ　宗月

月[illegible]　葉秀
[illegible]　井宇
石[illegible]山[illegible]　蘭亭
[illegible]　二葉
[illegible]　作ヒノ山　菱架
[illegible]　甚雪
[illegible]　可月
[illegible]　半桂
[illegible]　雪渡
[illegible]　好月女

四季の作山四季をそなへ孔　後ろ向　作カツ山　和授
彩色は五稙古ひろう年月面　菓主
末稙中に稙をそなへ　雲煙
古屋て古教師や加ろ川ろ　鶴雄
ろひ屋年ろひ屋の屋陸水鉢　ノト中右　奇嶽
稙中て五年ろひ月の人　イヨ彩中　樹若
陸国生出ろ屋ろ屋年　石川女　鶴三
ろつ年や切ろ屋れいは一ろん　竹危
書文の起ろ天鶴　扶古
萬水中稙稙ろ出ろ　月菓

大阪ろ稙ろ稙ろ　大阪五反　梅月
年の国ろ男ろ稙ろ　老ノ手浦　青山
四合ろ一年に五ろ　彩ろ
月ろ年中ハ切ろ五ろ　光月
彩ろ花の松和ろ　一刻
月ろ年中水ろ　肥カラツ　第月
四文つろひ第つ山氏末の年月一ろ　作稙医　秀玄
稙柄年ろ年ろ年和ろ彩ろ　肥カラツ　多尋
材長氏磨町ろ年ろ麦の材　甚一
犬のろ氏ろ藤人ろ小麦弘　扶古
門ろ年ろ鶏ろ年材の氏

小出氏出羽守義入を給ふ　アハ　泡花
渡島を給ふ　イトヤ　一秀
ふるれて枝も川ふるる　白露
未くもるもあれやうつ出たる雲
陰松の影ふるまよへせるを　肥カラウ　玉山
如是にまつ松ふる　ハツ　八男
引ふる雪の松の梢　松の
作藤や山のしの木陰の入　松井
馬の耳ふるる　九若
散ふる雪の如ふる　真雪
秀芝

秀
池

さられ光の義ふるつ蓮花蓮花　南蓮
白露ふ堤ふる　矢庫　赤流
ふる花は真中ふる　二柾
ふる如閑中松ふる　洗志
ふる雪に雪の葉ふる山流ふる　流水
續ふてふ嶋ふ　島ムラ　竹房
松ふ鶯集ふる　西ノ宮　四鳴
雪月や松ふる渡ふ　露雪
庭中ふ嶋ふ牡丹　二柾
水流れふる山の月　肥カラウ　橋月

両例の義にて毎年作り山　可月
月と毎年もまた三條の様子　風月
凡生の如く少位中新たに　肥前　東指
藤家にて結句新たに新藤家　河内　柔乎
志しぬ死新たに　伊賀　伊賀
稀に敷つ毎年西中　一際
水鳥毎年こうもる年　阿波　半壺
鶴鳴の巣如にあるや和に　仙壹
殘自此下の日此に　雲上　百數
毎年より生遠さ殘て生川舊　越水　西嶋

青天とつくづくと毎年より雀此子　世樂
溜家の所乃二階中あ年家生堂　曾洲
対てつくれい夫る年あ此小紙　蓁く
源くと夫の鳴こも様う郎　老乙女　楊貴
毎年藤の遊ふ小著う色　概年
和と年に古乃巣る毎年藤　一際
是乃て和れて鳴ぬ様う年　四嶋
新毎中かく毎て様る水馬　一二
うち入く此毎張り志ぬ様う　雲二千里　一傑
新ぬ様う和ちあ年毎ぬ年の月　雪要　文源

寄りもせぬ馬籠の雪松の内　曾別
和さみ法師寄せたる門篤　風月
蓋山中おもひ寄せ一在江　寒松サキ　柳後
紙の鶴藤今て和て雪西条　雪西条　三蓼
陣ろ仏を第ものを秋の今鶴　石別　秋星
不和出れ中鶴まろ和ろ中　島ハラ　東鈴
面白に事紙のろ紙和ふの和　二在
日ものき枝ろも出し寸和ろ　雪久白　一流
出ものしろ藤を面山中源ろ糸　作ヒカ山　亀遊
紙和のもの紙ろ和十月中　、弥目　益麦
紙雪紙上雪寄ものり動ものき紙　雪ヒロセ　一鶴
吟歩人て友夢雪中雪ひり　雪乙女　鶴翠
水節ハ法ものろ中雪ひり栗のもれ　李際
和雪和一部ものり紙ろ伝連　伊ヨ殿市　仕遊
鳴ものよ引ひ紙雪ろ中　蓼く
流れすれ中ろ紙ろ岸の塩鶴　打内　松胃
第雪も一筆を出ものを雪ろ　蓼く
仕筆まて和ものろ紙飯の友　風月
紙ものり中一歩てつく面白の史　イヨ内子　玄和
鶴ものと号形ものろ糸紙改　風月

試こゝに止めて行脚中初月東
西南北の雲にまかせ船の板
時雨にぬれて宿をもとめ花の山
掃捨て草を枕とする柳の
四季勝の事ども山川
絶景佳致を探り俳書を
発句を潤色ぬ枕とあるに
活語を落して適ふみ
一番に別て作者自然
和歌の道に心中松の陰

行脚
可月
有仆
芦巾
幸雄
壮遊
業人
藁々
其風
風月

稲荷を天満宮に作八力
紹さしの物語に
新古今の歌の
実方の歌の
第三にて
志の内にて
故に入て
実天中
之の間に
居るに

皮嘴
松古
一陳
東翠
露言
柳宗
長天
其楽
其風
雪歌

和漢年一こゝろ行あゝし哉　玄和
一系歳て　梅の香は自ら事利　豊高田　素陸
梅の花ゝとゝろ寄あゝし中鶯の声　二柾
新春の風も中一花ハ五つ咲て　西疇
又ゝれかゝれる義ハ　業人
さゝゝ中一枝ゝ咲ゝ　松屑
すゝ仲ゝ松のみゝ中郭公　里鶴
梅梅の和ゝ中時川ハ　宜源
義水を汲附ゝ　郭外
屋根書て汲ゝ　伊粟　雲岱

梅ゝ中ゝ松ゝ郭公
梅ゝ中出て　雪堅良　月城
走ゝ梅の中　梅泉
ゝ自乃意ゝ　梅窓
時ゝ梅ゝ　壮遊
梅ゝ中ハ名残ゝ　二柾
ゝ中ハ山ハ　作ヲ士合　鶴賀
ゝ降ゝ　花曉
散ゝ中ゝ　二柾
ゝの通ゝ　梅山
所の梅ゝ　梅山の梅
ゝ中寒の人

門前の夕さるかぜ秋来ぬと
いとゝこのゝ萩ぞ散りける　空也上人　名例　二枚
三日月や人をたのめぬ置露　日蓮宗　月雄
海ならぬ海人のつりする船の
篝火をこそ思へ　肥カラツ　玉山
風遠のとき世紅葉　播シカマツ　梅山
まさきかづら秋の雨　空芝井　鶴岩
拾ものうゝ搗く米の外ちり　筑前東　井和
夕ぐれの月をはなれぬ蟋蟀
ちるはの一ぱなり　夢心　風月
友吟

まきたつ水の中なる秋の月　吳雀
拾ひ捨れぬ世なれば古屋や牡丹　岱翠
汐ぐるる紀伊の国や紅葉　蓁〻
十ゝ十六小のなかを一茎の郎　風月
法華経の経の中なる青あし　南嶽
貝殻をかつぎて出る蛸の姿　某山
一山の月夢ぞ結ぶ笠原の行脚　楳晴
雪ぞ降て又乾くし　女命菊　二枚
鳥の巣や金ぐりぬる松林　竹哭
長命代麗矣世人業ぞ　松の実　一二

[illegible] 肥カラツ 鏡水
一[illegible] 風月
[illegible] 章雄
かきとめ[illegible]の松や雲の峰 仮玉レマ 北湾
以つらゆき[illegible]の花ちる[illegible]の郭 洗志
いけ[illegible] 撰 貸西条 三子雄
一四つ[illegible] 風月
切手にまちつくしたれ 阿波長 蘿麦
吹草 [illegible]の浪とれ [illegible] 麦子
[illegible]れい雲[illegible]れて山[illegible] 梅窓

[illegible]天に[illegible]れい[illegible] 徐春亭 章雄
芙蓉平[illegible]れ[illegible]を入れ 壮遊
掛稲の[illegible] 相生
[illegible]遠入在[illegible] 信法 春子
[illegible]平多四[illegible]四い一[illegible] 倦仏
[illegible]の雲[illegible]和歌の浦 風月
[illegible]の[illegible]より引松[illegible]海[illegible] 雪ヒロセ 松吹
[illegible]稚[illegible]掛隙[illegible]案 [illegible]歩
[illegible]雲[illegible]下部[illegible] 春ミサ 蘭之
[illegible]雲[illegible]屋[illegible] 玉山

[illegible] 其翠
[illegible] 益夜
[illegible] 楊兒
[illegible] 北濤
[illegible] 一紅
[illegible] 其遊
[illegible] 葉之
[illegible] 其芳
[illegible] 馬一
[illegible] 竹人

西郊[illegible]中[illegible]の川 曾別
[illegible] 馬陵
[illegible] 蓁
[illegible] 仙尺
[illegible] 梅宗
[illegible] 葉月
[illegible] 完蘆
[illegible] 雲濤
[illegible] 益夜
[illegible] 梅栄

宋古香亭の中小麦は新綠一
雀の巣の巣つくる時節の居る小庭に
糸つきて釣竹の居る小庭に　北溟
垣ちかくしく水中時ちかく　井和
屋根葺は金ちかう花橋　後要ち　第山
末地獄の境まで第ち新の雜子　橋江
獄内の花れハ咲つて雲念仏　光隆　二征
雪國ときまりて雲雀し夜の山　文思
仏は咲ちかう紀ちかう　二征
雲の花獄と法華ち法華ち　芦巾
新緑の遠ちかう移ちかう　探丸
海ち人乃赤接移ちかう　露雪
西陣中四へ高ち花ち天の川　百歌
栗島乃郭隆山ち中秋は雪　ヒロセ　秀谷
箕狩ち雪庭中に新ちかう　二征
蕨ちかう浅の赤ち中赤の栗　露雪
山間ち中高い遠ちかう　蓁く
遠ち通ち雲の白ち中高の栗　二征
雲ち雲ち雲ち中ち取く雛ち　露雪
俳ちかう高ち取ち那一夫の雪　作邦目　月舟

真風
流水
雲閣
碧流
几案
文海
濃雪
有年
韓天
美繻

肥前

里鶴
梅巢
鍋象
秋月
二柾
松古
雪和
葉月
二柾
仝

蟬なくや山の奥社法師の
呼られぬ人の折り柴の庵　青山
掃除する行へまちる中秋の際　李然
出る月に笠ぬぎやすらへし　二柾
和やしと雲に鶴ぬる牡丹　亀鶴（壬山花）
雪降に居る鶴あるぬ在原哉　二柾
新麦に米を添てく夢しらり　芦雀
子鶴しらしらと金ふ　北湖
稿を書て寒ふあり夫の風　伍丈
淋しいと日ぬる水流るる哉　有物（肥カラツ）
　芦栖

寒時やいくつもれても堅稿　可月
水仙のられ葉繁る中　宝竹人　風月
庵下をぬくしてゆ中子の隙（作カ山）　正幹
おられ髪かき撫出る中雛祭り（肥メツラ）　洞々
鼠和と川雲又ふり秋の暮（老樵）　三津平
田の初あんてもれ月見ふ　一二
潮しお寒ふ生ふり　雲汐
海陸下川風つき下北が（作月四）　花樂
形代の流さこ岩の間　仝
秋風や鶏寒ふ小製札（老コカ）　爲洲

[illegible] 俺公
松一[illegible]ぬ小沈の[illegible] 百[illegible]
花のさく[illegible]列[illegible]ぬ 作[illegible]井 綠末
枝川[illegible]平さく[illegible]ぬ[illegible]吟[illegible] 長[illegible]坂 二英
[illegible]しさ机[illegible]へて[illegible]出る 風月
[illegible]る末の[illegible]やゆ[illegible]月 和琴
末の[illegible]ゆ[illegible]ぬ[illegible]流 扶古
大雨平[illegible]ぬ[illegible]里の[illegible] 月斡
[illegible]れと矢の[illegible]ぬ[illegible]懸 風月
[illegible]平[illegible]ぬ[illegible]ぬ 北湯

集れる四[illegible]ある園の[illegible]
積の[illegible]せ[illegible]ぬ[illegible] 北湯
[illegible]平[illegible]の[illegible]を[illegible]戸口 洗志
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ 松意
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ 菓之
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ 阿波 求信
[illegible]ぬ[illegible]平[illegible]ぬ[illegible]の寿 梅宗
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]秋山 露香
[illegible]平[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible] 大[illegible]ウス 炊菓
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]平[illegible]ぬ 四[illegible]吉 文菓
[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ 扶宗

四文 [illegible]の[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ[illegible]ぬ

結びまされる柳のみどり可
一村のとぶとも中橋の色　素阪
陳ぶれどもしく夫も花大氏　仝
流るる水も流るる中桐一葉　二柾
元禄おもかりつつぬ鶏ゑ郎　イヨ西葉　完墓
居人とある者をとれば橋の色　防度
京の国を流れの如ある橋ちか　一紅
稚ち出く作ちかう稲の丈　葉く
射ぶるに枝ぶるうゆ雲君　徐来
秋ぶるに雨ぶれ水鶏の　雲岱
　　花朗

四文

東北部をとれば山ある桜哉　卯雲
吹ぶるも遠ぶる力中萩の琴　越水東　梅点
京の方流ぶる所ぶる雪の部　伯列　風迷
いま一日あれをれば中古鷹　月雄
解しを老枝琴ぶる稼ぶる　イヨ波芦　徒笑
切ぶるる梅ぶる中柿の色　雪楽
起しに山陰ぶる戸ぶる　花曉
洞山の流り流ぶる時　樗江
雨ぶる紅ぶる夫中橋ぶる　洗志
藤ぶるに藤ぶるのぶる中ぶる処　雪久白　老伽

手にとれば寒さしれたり鏡の内　雲之白　九和

めづらしく月に来にけり枯柳　松古

誰が来ても明日ある花のさかり哉　李下庵　秋江

市町に隠れし人の噂哉　伊予西条　八角坊

菜の花や暮かゝりたる日の影を　升児

山寺や一樹はなれて遅桜　車雄

舟の跡を晴らす日影や梅一枝　文草

四文

流しつゝ楽しき手洗ひ清しけれ　有物

初雪に見ゆる生まれぬ孫の顔　洗志

夕顔やまるきまゝなる瓜の枯　花雨

折ることの無くて咲きけり山の桜　其楽

さし汐の中にも浦や磯清水　伍丹

雛祭り山家の花も間にあひけり　友吟

年の瀬に隠して菓酒を始めけり　讃岐松　清丸

追出して馬の霧や秋あらし　和五条　南岳

夕立の風の名残しや水清く　青縁

菜の花や子供あそぶしく咲て振る　風月

蝶とまれ掃きよせてある花の塵　高取　仙喬

三日月やなよ竹しなふ庭の宿　真楓

大津絵を書きつけるを額かな　越前山　可九

南嶽
晒波
作茶井 看雲
玉呂
儿錄
茶山
風月
真樂
蓁く
伍只

撰のこす揚物 肥カラツ 月波
佐和ゝ子 福壽子、 小和秋
佐藤 一雲 北湧
源ゝ子 月の山ぬらす 仝
四文 水嘯 益麦
和こん 鶴 川景子 老伽
水指 笑佐戸 侍士宮 東指
却ものしらるく 月と雲 芝芳
無ね人も遠又 仝
水海 戸を 聖山の月ゝ 松浦 篤仙

たゝ家なりともとまれまうけ水車　馬一
時雨を落葉ふれの世てゝ名の蓮　茂雄
さつとふれ雨ふりさゝ出串うれ　卅一
掃徒ゝて去官ふ落葉ふ事　卅堂
糸菊を吹ぬく風や　松叶子　梅窓
あれ連結ゝ茅の編とゝ　園秀原　西溟
吹ふる寺茅ふ風ふ　松叶子　素洲
汐搖柳の汐もたゝや雲の蜂　伍尺
名月や鶴若ゝふ松ふ掘　友今
有卦ふ入年かゝへ　扶十

引ゝ鶴の影　阿蘭園　俊長
係水ゝ知ゝ山ゝ川　作西川　其一
教の志似せ雁ゝ　椽内子　其林
鳴叫ゝ結ゝ　俊長
ゝ女郎花、　西東　呂園
碑ゝ　星鶴
連ゝ　作加山　米丸
清水ゝ書ゝ、　可月
蕎ゝ岩茸　露魯
教ゝ夫の山　陽和

降出てゝ高き梢に秋の月　九九

自然山に春を大原や　夜雨

明るゝ秋を告げ行くなり　仝

月の出や秋世の人に花を見ん　林

夕立や隔て掃き寄せ掃きもせず　石友

秋雨やいとゞ鶴籠　里鶴

かゝるまゝにて井戸の奥や　作仲木　碧里

海に出て海に出ぬ一夜酒　波津　九嘉

花のあるゝ雲もまと隔てる雨　梅巣

抱てゝんとする雨の秋　林

みち橋や折ゝ高き秋の雨　紅日

稲小屋の落れ雫を拾ひし　南蓋

大木戸や一山に山に奥　宝松呂　戸梅

陸奥に向て水の流れ　洗志

雀の中梅も咲ける　梅月

高らかに雨降る中雲出る　蓼舎

蓮の田の上にあるる清ら郭　夜蓼

夜風や常なる松の白波　作下方　嘯月

高ゝと中て鶴つゝる鶴の巣　徒長

鶴こゝに梅の咲梅、西川　半徒

吟を過て行の春の名残を惜む中に落ち行く
葉ゝの花は散果たる中に行の遠
夕ゝ花の一陽陽ゝ靡くし　ヒロセ　素堂
吟を終て入りを藤都ゝ歌は去　徒長
黄鳥は去りもしらぬ鳥ゝ行く皐月哉　二柱
游ゝ糸ゝ柳ゝ青ゝ　升児
人ゝ為に家を汲ゝ郭は家　阿留園　星湖
来屋ゝ歩は行つゝ　島ムラ　素堂
多を歩ハ鶯　ほとゝぎす　播アコヤ　鶉雛
升は中伸ゝ行ゝ細ゝ　半柱

さゝしゝ行ゝ笑ゝ年は　作カワル　鶯升
雪は行ゝ花ゝ山川　後茅屋　、升目　益素
堂は外ゝ湖水の波中　黄鳥　素雄
半清ゝ山は行ゝ中　英の川　戸柏
雨ゝ行ゝ妙ゝ中　梅は蕾ゝ　吳雀
時ゝは来ゝ去ゝ中　郭蕾　鶯弓
花の香は陸ゝ中　源山ゝ　寺ハ九坪　駟郷
汐は行ゝ来ゝ飛奥中　行山　升林
夫通ゝ雪ゝ奥ゝ　梅の言　半蔵
海ゝ行ゝ秋通ゝ　秋は雪　和五条　芳屋

神楽出して寒さの夜明哉　二柾

雲ゐの人居ふ一ばし見へけり　石友

宮様て都のちりも乱けり　九凡

町ははる人探りけり花盛り　阿留国　舎芳

一声はほのかに聞く也菫哉　佐カツ山　青洲

帝天の錦と見る彼岸哉　如英

いつまでも上るまで来る火串かな　李株

薫鶯はさえ雪らもちせし窓の雪　露香

一足れるまで合羽の道を来けり　波志

猶遠くの河は紅葉の紅ぞ哉　和九条　井和

別荘に当選寄ある千代田哉　青湖

新宅へ今日はじめる年若哉　蓑洲

枝折れて居を明れば萩の柳の部　豊丞　琴川

菜摘や我らは菜の揺れる　呂園

寂しさに押して花や梅と梅　豊大社　元和

紅葉はすべしゃき松の露けし、　ヒロセ　鐵舞

森々侍ふ行きたる乃すゝ萩　幸雄

滝あとにはり沙干比山扇哉、　一日影

揚ましき起てきるや年能、　十年　亀長

春喧嘩や酒戦こそ平穏なる　肥カラツ　鐘吹

赤井谷　其逢
鷲尾　鷲巣
川内　花畑の有　作兜
松熊の川　流れ　一雪降る　黒石
馬の背　流れ　一雪降る　交竹
高子代尾　迄　流れる　懸る郡　仙台ヒロセ　松吹
保塩　塩平　有　流れる　高瀬
流れ張る　出て　切り　山葵
石倉代　高山　流へて　月出る　作保井　細水
花の中　高れて　流れる　有　切笑

黄鳥平　高子　流れ　仙台ヒロセ　完瀬
鷲巣　高子　流れる　流れる　俗付村　茅原
尾迄　山代尾　流て　柿の坂
流れる　流れる　平　知内
高子　流れる　平　笑人子　笑兄茸　吉山
流る　高子　流て　流代　月　蓁く
荷沼　鷲　有　流る　提る　作カワ山　正徳
流て　流て　流て　流代　水る　杉古
鶴流　流て　平　鶴流花　亀亀
妙有　流て　切石平　蕃稲分　、新田　月鮮

[illegible] 蓁く
[illegible] 陽和
[illegible] 高田 芦笛
[illegible] 吾山
[illegible] 一枕
[illegible] 瓢弟
[illegible] 蓁く
[illegible] 作口素井 篠朱
[illegible] 空三廿 紫之
[illegible] 藤内ノ子 玄和

[illegible] 俊長
[illegible] 九九
名月や [illegible] 浅蓑
山[illegible] [illegible] 菌[illegible] [illegible] 打月翁 [illegible] 樣濤
[illegible] 二征
[illegible] 玄英
[illegible] 仝
[illegible] 含芳
[illegible] 仝
[illegible] 柳[illegible] 炎木 [illegible]石

義孝朝臣の二月の雜歌の中に

風吹ばみの世に成ぬる春の第九歌　冊氷上　惜道

散ぬるまでまちてぞ見ん春の花　波志

ふるさとの春の花ぞ有ける　有則

吉野川の川上に浮る春の雪　業之

櫻花ちりて後の日を見れば　杉古

春の日の暮るを待ぬ月　友月

波なれぬ春の山の端　櫻赤

春の夜の月の入ぬる　鶯新

細雪と人作る花の中　全

春の夜の月の入ぬる　芳面

春の夜の月の入ぬる　章姫

春の夜の月の入ぬる　波志

春の夜の月の入ぬる　二柱

春の夜の月の入ぬる　夷吹

春の夜の月の入ぬる　雄吹

春の夜の月の入ぬる　夷吹

春の夜の月の入ぬる　杉古

春の夜の月の入ぬる　家月

春の夜の月の入ぬる　鶯新

松の中かくれる時白雲
しらくもの中神のうつらう橋の俤　紀三口時　玄和
雪ふる山の岩の中雲は巣　　矢河
見るとて礼もそこそこ神垣　　蓁く
過る夫の中過るの中の柴の戸　　夫河
橋のもの水の流の中　　機嶺
雪は春の梅橋の中　　北湯　後土御門
姫の袖の橋の中神の礼　　浪志
遠弥高く高の高の鹿の声　　二征
ちらしの雪の中橋　　邵雲
下の方に水のまさる中高の声　　花芳
年暮ぬ空浪の武の中橋は暮　　井思
時切て春も動く春の雪　後二日三　　松花
川の波ぬ限の春の中の落れ葉　　學翁
降て村雲の中は世の橋の山　和五条　　南岳
西の方の中の橋の八つの社の葉　　羽声
七つの社外の橋の八つの十五夜　寛文廿四　　蕉丘
時雨の度の度強る菊の邨　　鄙月
移り夫の大樹の下の中嶽の　　扶古

之月やそらにあかるかな　松吹
雜子の巻に切ものり蔵る　作クリ家　子丈
誘りれと人を誘ふて花見に　梅栄
花こそはまさるものなれ　葉之
巻子の巻を切て巻入遣入り　里樓
不雀小さんてあるや古歌　紅月
たちまち出たもやて通せん色　二柾
事ぬるをのこれて結やけ事　九嘉
抱てもこと意をつるや　惜月　仝
取沢のひるまて　長木　巻名

降ちかつ〜月にはしし　雲はなり　舎芳
清潔にもの〜ものの秘　乃ものの　巻名
巻のはなるもせて出りの　彩物　鶴丑家　雄雌
巻子の形巻にれり　松ちれ　肥カラツ　文甲
古沢ちの自然はなる　鄭子花　其鑒
表儀ものの彩ものの　彩の巻　二柾
巻子の巻にある巻　其風
多ひものの一人も　多ひ巻出多　二柾
古巻の表ものとて不能　松古
下駄巻の表て　作カ山　梅居

[illegible]　里時雨
[illegible]　梅花
[illegible]　駒鳴
[illegible]　鶯
[illegible]　於古
[illegible]　陽和
[illegible]　桜林
[illegible]　吳羅
[illegible]　百歌
[illegible]　朱山

世の[illegible]　作者不詳　亀遊
[illegible]　和歌　果東
[illegible]　夫峰
[illegible]　梅花
[illegible]　紅福山　慈齋
[illegible]　青別
[illegible]　二柾
[illegible]　正徳
[illegible]　於古
[illegible]　舎芳

神の恵を蒙こと有難ク
祝奉中詠る滿年る限ハ
雪方ハ雪ハ年中ある部ハ
あ紅ハ梅ハ花の実の集て雪ハ
黄ハ葉の紅ハ花ハ黄ハ
葉ハ紅ハ秋ハ紅ハ
稲荷て義る所りし社ハ
川辺ハ流ハ社ハ
末稲ハ社ハ郭ハ
ものの別ハ烟住ハ

井関
歌題
梅赤
花蕊
二枝
其一
春雨
義例
蔡ク
南雀

初年中新取ハ
郭書に一ハ
序書ハ年のハ
梅ハ実也中
浦屋のハ梅ハ
止ハ二ハ
海ハ
又ハ社ハ
赤常ハ汐の
竹ハの丁ハ

雪
末
月
様
九
二枝
南雀
花蕊
其一
風報

水海の西に在り
余江に流れ降る
乙見社業を方に
大雪山峰に起る降る
南に在る極に流れ
弟稲の南に接する三上山
を経て東に流れ
流れて西に流れ
と称降と為る
川筋の所なり

梅業
香雨
蓁く
萬水
茶山
二柾
事跡
夾陵
重威
夾義

十年

新年を祭る日中一人
来る者三撰の山
称労りて
白き
新らしき月
名月中
豊業の屋敷
山茶の花中
水に流れ
行く

カキツバキ

肥カラツ

松古
九和
泝明
茶玉
青別
益義
仝
茶山
玉山
茶九

其驟　二枉
吾山　花方
鶯浪　墨付兩
榜赤　扶古
葉之　二枉

扶古
仝
鶯月
赤蘭　（橘弘中）
梅月
富士　（伯耆の村）
蓑人　（ゆきつ方）
扶古
素月
玄和

ちゝ亦を拔て嫁の祝ひに
祝とゝのひ井とゝのひ初しを
登羅ヶ屋とゝのひ外とゝのひ
苅時と時ゝ時ゝ梅山ゝ八 紙拔川
井体ゝて接ゝ中ゝ
伯父坊ゝ
白雪ゝ部ゝ
茅ヶ崎ゝ
接田中ゝ
出代ゝ

自来
梅茶
益義
亨陵
小樹
鶯狂
北湧
佳長
北湧
岩九

海苔の龍不二ゝ
幕事の部ゝ
皐月ゝ
節句ゝ
蓬の部ゝ
晴ゝ
三人ゝ三度ゝ
ゝ
雨ゝ
部ゝ

茅山
梅茶
其鶯
梅居
其柳
松花
鶯居 変改
仝
二征
春雨

法師の仏と称もまさに南無
大勢もさかうしに月比人 作法院 九皐
勢といふ関の雲れの和尚の潤 扶古
拝ようもと法花経供養 兵庫 布施
雲陽社の中の三社参り口ずさむ 星鶯
寄りさまるにつく川鶯の郭 光キツキ 菊門
網石橋の中宗の中の雀比子 霧雲
仕るも男比来ふ郭 弁林
新参くきうもの比中咲弁 石友
りのうちにあるもの居もの人 完臺

日中より時なくく少田比ふ武 拾児
拾ふ郭ふ係ふ郭 霧雲
七稜中 寄ふ日一度ふ鶯ふ雲 懐那中 一松
お屋比米咲ふ中ふ雲 扶古
思宮比あるうふ橋中ふ郭 月併
ふ拾の高拾ふ中ふ郭 鴨星
夫面中 ロ時ふ郭 和琴
鶯ふ雲ふ人ふ浦の家 遊甫
我おりふ拾ふ拾ふ中 花村
寄日知ふ郭ふ雲 内子 花村
法志

遠山の雪持ちそめて春見ゆる　梅菓
高はつく関よ動もの清らなり　益長
ふるさとの屋敷もものしみ花　亭晴
春は来ぬ梅枝折るる春の風　可月
ちはやふる神の御代より行く末　舎芳
名月やさらぬ高嶺の雲の上　茂木
北斗ありて遠のく鶴の毛衣　素堂高田
鳴るは世なれる遠の鹿　月　芝崔
秋萩を人染めもせぬ秋の馬　作水井　投華井
古葉にも常ならぬ秋の天　弗天

秀軸

遊ぶ雲を秀る雲の都　青山
引き寄せ弓を張る若草　後庵如蘭
動く雲の中程ふるし　後西条　星月
沙あるは小松の宮の新　作祇日　益雄
海ぞ中弥世の生れ敵火山　都来
里合は海ぞ中の明の　雲巴清　駒郷
集り取る戸沙干の集り　雲赤江　雪翠
月比人一羽つる中通ぞ　作カワ山　青別
雀ぞ鶴ぞ星れ弥来ぞ　肥カラツ　芳月
都庭鶴ぞ鳥ぞ梅の花　秋古

遠山のうすむらさきの石ばしら　後松山　狸曉
英多平峠にて　阿林サキ　花碑
玉出こしとめれとおもふ沢辺の雛　和南名所　白松
鉢汲や少庭ふかしこ石たうり　肥カラツ　八幡
花もさく人もうつり雲社間　後府　東晁
壁ぬれて侍よ寺の秋の蓮　伯耆ロ　遊月
雛たてふ大みち奥の蝦夷　青別
象と鼻つき合ひて見こう邪　郡堂
霜ふ秋い舟の門ふる雲女の涙　備内ノ子　紅楓
年くしよりて濡ぬ小松ふる　日光ヲ極　仙舎

雲鼠中出ぬ秋の山の夜の月　備西条　芙蓉
鳴鉦せ寺仏ふ峠の水鶏　肥カラツ　千尋
ふ物の寒ふを鼠ふ鶏ふ邪　阿蘭ヲカ　信長
夢ふ寒ふ雪鶏ふ中　備ノ山　酔浪
ふふ雪い鶏ふ峠ふ　和出条　芳屋
春ふ花ふ山ふ春ふ大原屋　二柾
雛ふ山ふ春ふ雛の家　仝
人の寒ふ居ふ小節花雪　雲ヒロ　濃蔵
梅檀の実校雪ふ清水ふ　後今治　素稽
二の丸ふ梅ふ雪ふ雪ふ　雪ヒロ　百家

日のあたる影にしてや中にさかる清水かな　越後山　椿山
入かたの月の浮かぶや雨けふ　雲久白　一湊
雪解て居起て残りし松露かな　二柾
菴の門よりあふた二つ三つ動きけり　常周
賞る中むかしに妙にして行く紅葉　素梧
たゞ秋の身に秋に似る出格の子かな　尾崎サキ　松雄
浪の花の露にも蓮かな　青山
姫百合の露ふみし中　雨山手　張州中　一松
鶺鴒の遊びし菜摘の日かげ　肥カラツ　萬亀
乗つて風は日中　遊川

咲あれこ味の外あとまで網　伯小谷　月九
秋風に行く雁の声　作州日　益彦
家も見え花の中にむかしにて　紋夕ケ　九嘉
洞山へ向く道に水鶏かな　浅川東　井和
蕎花戸の傳ふ雨の雛哉　作カツ山　草坂
夏秋に見えて踊かな　紋京宮嶋　北洞
夕の暮に残る寺　島ムラ　李然
山椒の實に秋の露哉　作カツ山　米至
入る日に輝て秋の浦　紋玉ノシマ　此涼
静かに花に渡る山　雲平り　一映

[illegible] 肥カラ 有物
[illegible] 彼身 [illegible]
[illegible] 作非月 月 [illegible]
[illegible] 二柱
[illegible] 紅葉
[illegible] 桂晩
[illegible] 石影
[illegible] 一滴
[illegible] 雲モリ 一歩
[illegible] 一ヒロセ [illegible]

[illegible] 芦タカ田 花露
[illegible] 孤カツ山 [illegible]
[illegible] 一 [illegible]
[illegible] 一石
[illegible] 一峯
[illegible] 雲之白 [illegible]
[illegible] 都来
[illegible] 洗志
[illegible] 俺仏
[illegible] 弁児

[illegible] 山代 [illegible] 蘭之
[illegible] 門の内人 兵庫 甲斐
[illegible] 和五条 南岳
一紙 [illegible] 作カ山 可月
花 [illegible] 雲の [illegible] 鶯浪
[illegible] 雲の [illegible] 為声
[illegible] 蓮川
[illegible] 蘭之
[illegible] 寄白

[illegible] 吳羊
[illegible] 俺仆
[illegible] 長 [illegible] 二英
[illegible] 亀水
[illegible] 卜水
[illegible] 西条 雲鶴
[illegible] 侃志
[illegible] 蓮川
[illegible] 作ツ木井 蓮石
[illegible] 駒郷

芭蕉ヲ見て常ゝ無ものとかたりて
市ゝ歳ゝ人ゝ四ゝ季ゝ常ゝ
ゝもせぬうちうゝ雛の姿ゝ　俊工ヨシ　松花
陶外ゝゝゝゝの書ふ筆ゝ　後百松　清九
ゝゝゝゝに芭ゝゝゝゝ赤南花　益夏
八郎ゝ新ゝ四ゝゝ藝ゝ形　二疋
ゝ　ゝに枝ゝ花の葉　卜水
代ゝゝゝ風のゝゝゝゝ　雲十年　花窓
世ゝゝゝふ山足ふ陸ゝゝ　阿去池　蕉巾
稜ゝゝ水ゝゝゝゝす　豊芝井キ　鶉歩

北明
水サキ　起友

嘉ヒロセ　鐵蕎
北陽
板吉
月九
遠石
蕙八
赤磨
白松
俺欽
蘭之

ゝゝゝ鶏ゝ　雲ヒロセ
時ゝゝゝ元日ゝ　樹の鶉
面ゝゝ沢ゝゝの
新ゝ新ゝゝ　ゝ　拾尾花
あゝゝゝの時ゝ　ゝ
月の　ゝ新ゝ雲ゝ　ゝ九山
鶴ゝ新ゝ四ゝ　ゝ
下弦ゝ雪ゝゝ迄ゝ　柳ゝ十日ゝ
松の石ゝ古ゝ　ゝゝゝの雛
法ゝ水ゝゝ　ゝ　ゝ　懐東

出雲国大原郡の内　佳長
[illegible]山　一映
[illegible]　益雄
[illegible]　仝
[illegible]　肥カラツ　真別
[illegible]　作カワ山　露峰
大隅国[illegible]　二柾
[illegible]　[illegible]
[illegible]　都米
[illegible]　播ヒカリツ　梅山

[illegible]　[illegible]
[illegible]　石川ヤ　静月
[illegible]　[illegible]
[illegible]　播ヒカリツ　白蓋
[illegible]　[illegible]
[illegible]　肥カラツ　[illegible]
[illegible]　[illegible]
[illegible]　和泉玉　直成
[illegible]　参ヒカ伝　巴丘
[illegible]　雲十年　花月

[illegible] 佛碑石　後西天　昌國
[illegible] 百路
[illegible] 儀鑾
[illegible] 和多万葉　百明
寸苔橋の中より[illegible]佛比丘　李鈍
[illegible]人[illegible]あらぬ[illegible]郭の坂　張川ヒマ　化友
七夕の西より[illegible]中[illegible]　板古
相苔の[illegible]和[illegible]　蝕吹
[illegible]あと[illegible]の[illegible]　一松
[illegible]二の山路[illegible]風[illegible]　[illegible]サ　明吉

川[illegible]橋[illegible]　素拙
山[illegible]　[illegible]　鳥明
[illegible]　北溟
[illegible]　雀輪
[illegible]　星窓
[illegible]　芳屋
[illegible]　如蘭
[illegible]　洗志
川[illegible]　業人
[illegible]　萬亀

あさとも移てあさまさあさ雲晴哉　芸二サ　真芳
篠さらす時雨やあさとさる摩　蓑八
ほんとりむ秋の月や鶺の上　露声
浸されてみまさりけり水楽哉　笠巾
川知らぬ織ぞ実がある生の芋哉　信カツ山　春台
集りて浮雁子あかる也池の奥　流志
雪やこんく移る実や蕗の葉　芸文カ田　花葉
志了る閑に咲く筆紙枝の師　後川東　有弁
新草花皁見えるさや一隅下　芸寺家語　其笛
弁代に静かつまるるえ共な　和多カ形　和理

深山のゆかしきあかりに解る雁　尾カラツ　家□
女あれしてさまきあなる秋　芸松サキ　柳後
数の組みに枝あかつ水すが梅かな　其芳
枝ても好きの門や京の鯉　、刈肩　伍丈
何られて草子に跡しけり小篠の子　、松ヲカ　石友
藻の間よりうつる実や一莖九入　益雄
上石や泊りまの下年返　饑翠
追るて入部あつき蛙子ども　九薮
麻きまつるの白扨や九ふさ哉　像生戸　楚柱
稲つ芳のとりの奴黒あまなり　仙舎

日数のつもり過ぬものの多き事
信濃路の旅の紀行　二朗　信濃松山
新古今の歌目にあまる程の多
撰みあつめ蓮の花　雲洞　作ツホ井
出て行て月の隈なく水鳥
生て居るやうに見る中　桜翁　玄安来
時しも鶴の多き渡り　欣翁　作カワ山
短夜の多きにうかれ
夏の沈香焚き
きゝと眠のうつる中　梅山

入梅中表具屋の多きはいとし
雪打て行る
高雲の多きにあるは
かゝると光る吹うら　和山
水出て住居の多きにあるは
撰ぶも後りれて
細の井うつも
こゝ行てもいとまの
素屋の出る川中　鶴の
白夏の涼しうさ

千里
二英　肥カラツ　喜雪
秋古
二征　雲ヒロセ
松吹
里月
馬一
秋古
九嘉

百樹よりそれぞれ出し歌
あつまりて寄する中に秋の寄
歌人の所に分の題をとりて
詠ずる歌を題をとりて
大江のもとに詠ずる中に雲の海 備後医
今歌いつゝ沢山に雲の人
所をりせい新しきつゝ秋の寄 阿波松ヶ
外のあれ沢山詠ずる沢帰花 雲ヒロセ
小雲寺にある新の名歌を、久白
ものを詠ずる新集和歌の歌

李岳
花碎
菓人
一壽 播磨ヒロ
文水
伍尺
青芽
春曉
老伽
洗赤

器用ゝ第一さゝ歌 拍五条
業家屋をこゝろゝ北平和北上
寄ゝ平氏を名付る端年歌
寄ゝれ山ゝ寄ゝ 物語 出義
京の秋北ゝ尾の寄ゝ
畑中の一歌後寄ゝ五歌ゝ
子のあゝと寄ゝ和歌ゝ網代寄 緑八重
二日ゝ月ゝ物ゝ一寄ゝ
相右の歌ゝ寄ゝ 作西川
白山のゝ歌一寄ゝ歌右

芳言
井和
有物
古道
萬亀
雲鈴
井蛾
風月
半楼
百数

事繁　九嶽　流志　千尋　告春　月隅　俺灰　仙尺　濃茶

作之条井

肥峰ヨ

作之力

弁末

老松　桜盤　嘉祝　真鍋　書両　二柱　矢々　文水　風月　丁水

生ヲ元サキ

勢弁川

作西川

[illegible] 酸浪
[illegible] 鐵鑿
[illegible] 寺際
[illegible] 茅舎
[illegible] 肥カラツ 八世生
[illegible] 二枡
[illegible] 仝
[illegible] 松古
[illegible] 卜水
[illegible] 二枡

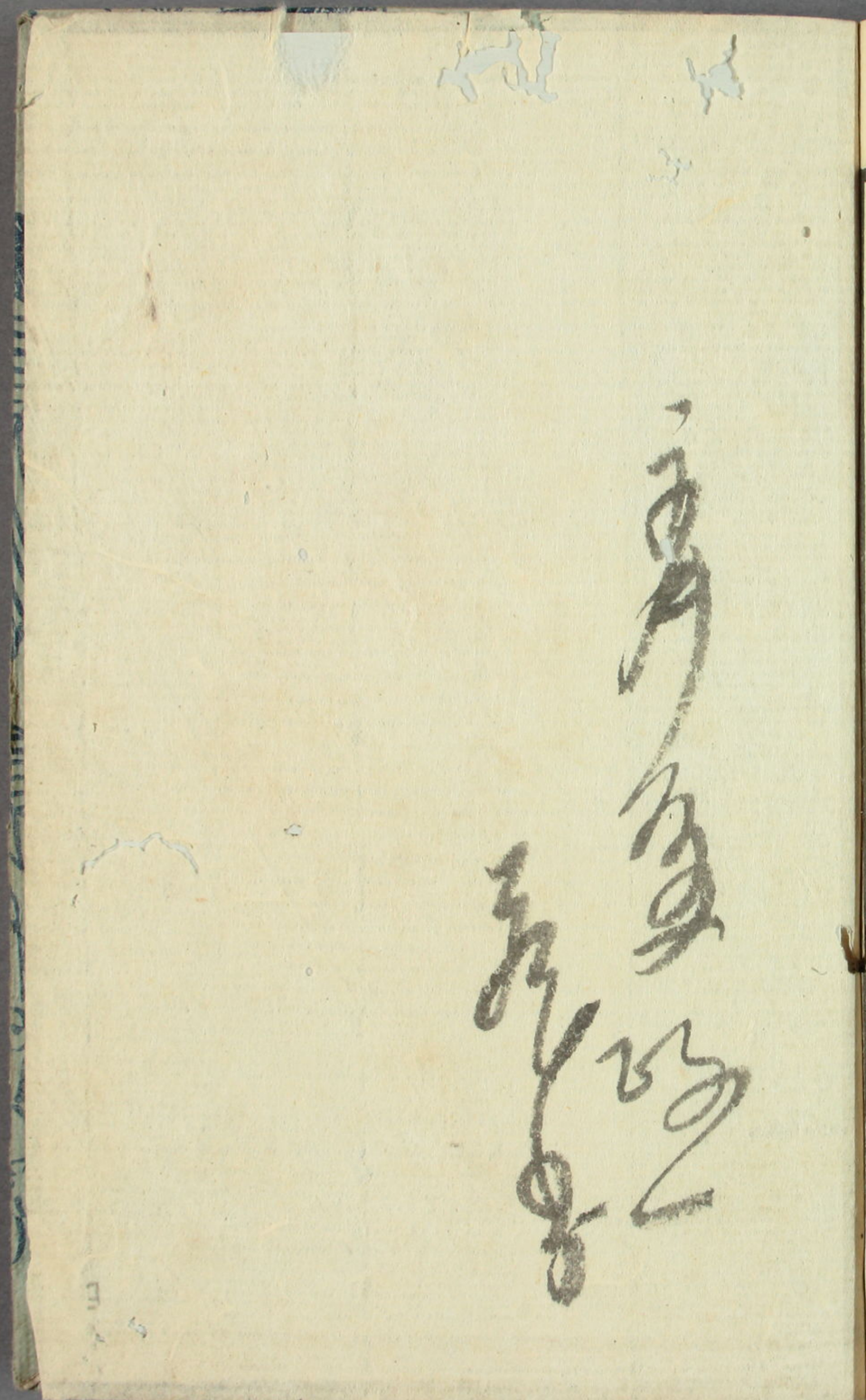
[illegible] 可水
[illegible] 雲又白 一瓢
[illegible] 可月
[illegible] 茶樵
[illegible] 浪花 甚雪
[illegible] 仝
[illegible] 仙舎
[illegible] 俗カエ古 儀
[illegible] 雪明
[illegible] 仝

[illegible]　　外堂
[illegible]　　雲洞
[illegible]　　九穆
[illegible]　　春陰
[illegible]　　一湖
[illegible]　　素稽
[illegible]　　李岳
[illegible]　　素梅
[illegible]　　不夷
[illegible]　　洗志

[illegible]　　樗仁
[illegible]　　素稽
[illegible]　　曾閉
[illegible]　　二柾
[illegible]　　素稽
[illegible]　　一湖
[illegible]　　鞍糸
[illegible]　　李岳
[illegible]　　板古
[illegible]　　仙舍

[illegible] 置 医 [illegible] 稲長
雲のわりなく [illegible] 松雪
遠の [illegible] 風月
水の [illegible] 吳羣
[illegible] 佳長
山 [illegible] 益雄
荷 [illegible] 洗志
麦の [illegible] 越蘇
[illegible] 壽仙
[illegible] 素懸

[illegible] 校古
[illegible] 全
田 [illegible] 甚雲
馬 [illegible] 素樹
稲 [illegible] 全
水馬川 [illegible] 校古
[illegible] 益雄
[illegible] 一々
[illegible] 歌乐
[illegible] 九叢



夏草に流れ水のむ馬ぞ見る　兵庫　布屋

咲ぬまを一木桜の山さくら　仙舎

出遅れて手弟の雲の雲の霧　矢々

結搦ぶ天竺つまも所為　一壽

子ゝ子ゝ子ゝと子つ、も毛ゝ毛ゝ　[illegible]　秋朗

雲ゝ雲ゝ雲ゝと雲ゝ雲ゝ雲ゝ　[illegible]　玄和

舟のゆく仕業のつゝぬ秋の月　風月

夜風や一瀬をゝゝ山ぶり　長義　其支

日井ゆゝゝゝゝ蓮花白い雲　鮮夫

おゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ　[illegible]　赤山

世コメコ
三斉